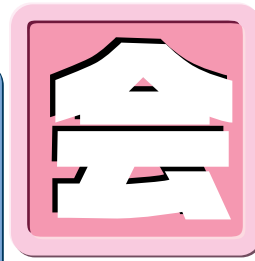




ながはま



Vol.17

平成22年4月15日発行
発行：長浜市議会
編集：議会だより編集委員会

だより



2011年NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の舞台、小谷城跡から竹生島を望む

平成22年3月定例会を3月10日から3月30日まで（21日間）の日程で開催いたしました。

役員等一覧表・主な予算の使い道	2頁
常任委員会報告	3頁
会派代表による主な質問事項と答弁内容	4～6頁
議員個人による主な質問事項と答弁内容	7～9頁
議案等審議結果、編集後記	10頁

長浜市議会役員等一覧表

【議長】青木 甚 浩		【副議長】福 嶋 一 夫				【監査委員】福 永 利 平			
総務教育常任委員会	12名	正 副	押谷 憲雄 溝口 治夫	浅見 信夫 林 多恵子	竹内 達夫 脇阪 宏一	福永 利平 押谷 友之	浅見 勝也 吉川 富雄	岩根 博之 押谷與茂嗣	
健康福祉常任委員会	11名	正 副	北田 康隆 金山 正雄	秋野 久子 吉田 豊	山口 忠義 寺村 正和	二矢 秀雄 阪本 重光	石田 節子 野村 俊明	福嶋 一夫	
産業建設常任委員会	11名	正 副	茂森 伍朗 伊藤兵一郎	杉本 敏隆 北川 薫	東野 司 武田 了久	西尾 孝之 田中 伝造	土田 良夫 青木 甚浩	花川 清次	
議会運営委員会	8名	正 副	竹内 達夫 東野 司	土田 良夫 北田 康隆	林 多恵子 武田 了久	茂森 伍朗 田中 伝造			
新庁舎建設に関する 調査特別委員会	9名	正 副	溝口 治夫 野村 俊明	浅見 信夫 林 多恵子	東野 司 北田 康隆	西尾 孝之 武田 了久	岩根 博之		
議会だより 編集委員会	8名	正 副	北川 薫 秋野 久子	浅見 勝也 寺村 正和	福嶋 一夫 押谷與茂嗣	脇阪 宏一 青木 甚浩			
長浜水道企業団 議会議員	9名		浅見 信夫 花川 清次	山口 忠義 吉田 豊	岩根 博之 寺村 正和	石田 節子 青木 甚浩	福嶋 一夫		
湖北広域行政事務 センター議会議員	12名		竹内 達夫 茂森 伍朗	杉本 敏隆 脇阪 宏一	山口 忠義 北川 薫	西尾 孝之 溝口 治夫	浅見 勝也 押谷 憲雄	林 多恵子 青木 甚浩	
湖北地域消防組合 議会議員	12名		竹内 達夫 茂森 伍朗	秋野 久子 押谷 友之	東野 司 北川 薫	土田 良夫 吉川 富雄	二矢 秀雄 押谷與茂嗣	林 多恵子 青木 甚浩	
長浜米原市議会 連絡協議会委員	8名		伊藤兵一郎 脇阪 宏一	山口 忠義 北川 薫	石田 節子 田中 伝造	福嶋 一夫 青木 甚浩			
敦賀・長浜・高島 三市議会協議会	6名		青木甚浩（議長） 押谷憲雄（総務委員長）		福嶋一夫（副議長） 北田康隆（健福委員長）		竹内達夫（議運委員長） 茂森伍朗（産建委員長）		

※表内は議席番号順

平成22年度当初(骨格)予算を各常任委員会で慎重審査

平成22年度当初(骨格)予算には、人件費、扶助費などの義務的な経費や継続的に行なっている事業などが計上されました。政策的・投資的経費は6月議会に補正予算として計上される予定です。

当初(骨格)予算の主な事業

子ども手当支給事業 23億8800万円

国の制度改正に伴い、これまでの児童手当が廃止され、0歳から中学校終了前の児童一人につき、月13,000円を支給します。

浅井三姉妹イベント関連事業 4500万円

小谷城を中心に史跡や社寺仏閣を「戦国の聖地」として位置づけ、バスツアーやサイクリングで巡ることができる戦国野外博物館として整備します。

常任委員会報告

安全安心の教育環境整備

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、二十二年度一般会計予算、二十一年度補正予算、条例の制定及び一部改正、長浜市土地開発公社定款の一部変更、工事請負契約等の合わせて十五件であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

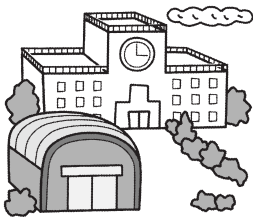
▼二十二年度予算の主なものは、本年七月に行われる予定の参議院議員選挙、滋賀県知事選挙、市議会議員選挙にかかる経費等です。

▼二十一年度補正予算で主なものは、神照小学校の体育館新築等の整備事業費です。

▼条例改正では、市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部改正で、厳しい財政のもと報酬の一部（五％）を昨年に引き続きカットするもの等です。

▼工事請負契約は、長浜北小学校の大規模改修工事についてです。

▼請願についてですが、まず「指定避難場所におけるLPガス設備設置についての請願書」は趣旨を承と決しました。次に「高月町民の福祉・暮らしを守る請願（修学旅行補助及び幼稚園通園バス使用料について）」は不採択と決しました。



安心して暮らしをまちなび

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、二十二年度一般・特別会計予算、二十一年度一般・特別会計補正予算、条例の制定及び一部改正等の合わせて二十四件であり、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。

▼二十二年度予算の主なものは、児童手当支給事業に代わる新しい制度としての子ども手当支給事業、妊婦にかかる経済的負担を軽減するための妊婦健康診査事業、福祉医療費・子ども医療費助成事業等です。

▼二十一年度補正予算の主なものは、子ども手当の支給にかかる情報システム整備委託費及び民間保育所整備補助金等です。

▼条例の制定及び一部改正は、病院事業の地方公営企業法全部適用への移行に伴う関係条例の制定及び一部改正等です。

▼その他、休日の初期救急の医療体制を確保するため、保健センター内に長浜米原休日急患診療所を開設し、管理及び執行を米原市から受託するものです。

▼請願の「湖北町保健センター及び子育て支援センターの存続を求める緊急請願」「長浜市はり・きゆう・マッサージュ助成券継続のための請願」については、いずれも不採択と決しました。

地域環境と産業振興を

産業建設常任委員会

当委員会では、二月に操業したイオンディライトアカデミーを視察した後、付託を受けました議案を審査しました。議案は、慎重審議の結果、いずれも可決すべきものと決しました。案件は、二十一年度補正予算および二十二年度一般・特別会計予算、条例の一部改正、工事請負契約の変更、和解案件の十八件で、概要は次のとおりです。

▼二十一年度補正予算は、近年まれにみる大雪に見舞われた除雪対策経費ほか、市道や林道の整備、河川の整備事業費等です。

▼二十二年度一般会計予算の主なものは、景観整備や浅井三姉妹キャンペーン事業、地産地消等の産業振興事業、道路維持等の建設関係事業の骨格的なもの、特別会計については上・下水道事業関係です。

▼条例は、県から移管を受けた屋外広告物の手数料の改正、市営住宅の駐車料、改良住宅の区分を変更するための一部改正です。

▼請願の「市道におけるLPガス埋設導管と都市ガス埋設導管との二重敷設についての請願」「高月町民の福祉・暮らしを守る請願（独居高齢者の上下水道料減免）」についてはいずれも賛成多数により趣旨を承と決しました。（後者については本会議採決で不採択）

会派代表質問

会派代表質問の
主な質問事項と答弁内容

プロジェクト21

茂森 伍朗 議員

市長の基本姿勢について

問 類似施設の統合、廃止、見直しによる地域のコミュニティへの影響について問う。

答 基本的には、全ての施設を対象として見直す。財政健全化の観点から、特に図書館、文化ホール、スポーツ施設、社会教育施設など、機能が重複しており多くの管理運営経費がかかる施設を重点的に取り組みたい。施設の見直しにあたっては、各施設の現状や設置状況、地元の方々と関係団体等との調整を踏まえながら進める。

問 合併による一体感を実感するには、きめ細かな行政サービスとその拠点づくりが必要だと考える。支所を統括する権限をもった出先機関の設置について問う。

答 木之本支所に、旧伊香郡エリア

を対象として、健康推進課、高齢介護福祉課の分室を設けて、一定の専門的なグループを形成し、一定の技術水準が確保できるよう対応している。

問 育まれた歴史の重みと文化の薫り高い湖北地域には、まだまだ埋もれた歴史資産や文化資産がある。新長浜のブランド力を高めていく上でも、ないものをねだるのではなく、あるものを探していくことが必要だと考えるがどうか。

答 観光まちづくりコーディネーターを核として、埋もれた地域資源を発掘し、住民自らその価値に気づき、住民主導で磨きをかけ、情報発信をしていくことが必要である。



長政会

吉川 富雄 議員

新長浜市の市政運営について

問 新市運営の基本的な考えを問う。

答 公平・公正で格差のない地域づくり、閉塞感のある市政を変え、市民の目線に立った市政運営をする。市民参加の会議をもつ。

問 新庁舎整備について問う。

答 簡素で機能的な庁舎を目指す。八支所については、基本的に、本庁へ業務を集約する。住民サービスが低下しないよう本庁補完施設を検討する。木之本に、健康増進事務所、地域包括支援センターを設置した。

問 行財政改革について問う。

答 歳出を見直し、人件費の抑制、事業仕分け、類似施設の統廃合等、聖域なき行財政改革に取り組む。

問 市立病院運営、湖北地域医療について問う。

答 公営企業法の全部適用となることから病院事業管理者を置く。病院や診療所等の機能や役割分担を明確にし、湖北の医療機関が一丸となり地域医療を守る。

問 入札制度について問う。

答 地元業者の育成や地元企業にも

メリットのある総合評価方式、工事業績評価等の実施に向け取り組む。

問 公平、公正な市政運営について問う。

答 利権構造、癒着構造を排除し既成概念に基づいた行政感覚から脱却することが必要である。「一時間生活圏」の形成を進めるため、生活しやすい地域づくりの施策展開を行う。

問 教育の基本姿勢、土曜授業について問う。

答 道徳教育を重視、地域、家庭のさらなる関わりを求めたい。各校で授業時間確保を工夫しているが、土曜日活用も一つの方法と考える。「教育先進都市」を目指す。

長愛クラブ

押谷 憲雄 議員

マニフェスト実現に向けた行政運営について

問 政策形成能力の強化と行政執行体制の見直しについて問う。

答 政策推進を総括管理するセクションと政策方針の決定や進行管理、財政再建や行政改革等をプロジェクト的に行う組織体制を整える。

問 市民参画の仕組みづくりについて問う。

答 幅広い市民参加を念頭において「座布団会議」や「まちづくり〇〇人委員会」の実施を検討する。

財政健全化への取り組みについて

問 事業仕分けの取り組みについて問う。

答 効果的な方法で事業仕分けを行い、政策や予算に確実に反映できるように取り組んでいきたい。

問 合併に伴う類似施設の整理方針について問う。

答 「長浜市公共施設見直し方針」に基づき、今年中に具体的な計画を立て、概ね五年を目安として、計画的に見直しを進めていきたい。

長浜市病院事業について

問 経営改革プランと現状について問う。

答 平成二十一年度の目標値は、ほぼ達成できるものと思っている。

問 長期入院、未収金の徴収率改善等について問う。

答 長期入院については、医療の領域だけでは解決できないケースであり、健康福祉部門にも協力を求め、法的解決も視野に入れ、市の顧問弁護士にも法律相談を行った。未収金

の回収については、弁護士法人への回収委託や悪質滞納者には裁判所からの支払督促や小額訴訟による法的回収に着手した。

新 和 会

土田 良夫 議員

防災対策について

問 地震、風水害、火災等の広域的な視点からの対策について問う。

答 各支所に消防・防災担当の地域振興課を配置している。

合併により災害発生時に職員、消防団員、資機材を被災地に集中させることができる。

自治会活動、交通安全対策について

問 自治会活動、交通安全対策の新しい市における一体感（整合）について問う。

答 新たな市連合自治会として、更なる一体感の醸成に向けた取り組みを支援していきたい。

交通指導員は、各支所担当と連携をとりながら制度の運用に努める。

彦根長浜都市計画区域について

問 彦根長浜都市計画区域の現状実

態に対する今後の対応について問う。

答 平成二十二年度中に市、県の都市計画審議会や公聴会を経て、県において決定の予定であり、その後、非線引き区域編入等、都市計画区域の再編に取り組みれる予定である。今後、市においては、市街化の拡大、区域の再編に取り組む。

観光ネットワークの構築について

問 湖北の文化財・自然環境を活用した観光ネットワークの構築について問う。

答 浅井三姉妹のバスツアー、巡回バスの運行、レンタサイクルの設置など交通網を整備し、農家民泊や商業、漁業などの就労体験型観光を進めている。

本庁と支所の連携について

問 本庁と支所の連携の実態と今後のシステム構築について問う。

答 企画部内に設置した地域政策課が支所からの相談や質問の窓口となっている。今後八支所との連携については、役割分担の実情を見極めながら、実態に即した形で対応していくべきと考える。

日本共産党

竹内 達夫 議員

市長の政治姿勢を問う

問 一市六町合併により地方交付税が十年後から毎年大幅(約五十億円)削減される。「合併は私自身も諸手を挙げて望んだこと」との市長の弁だが、合併による財政難(千四百億円借入)をどう解決するか。住民サービスの下下は許されない。

答 合併をしたから財政難になったのではない。市民の不安感の解消と期待に応える。福祉は後退させない。

地域経済の活性化対策を!

問 湖北地方の大手企業(日電ガラズ・ヤンマー・キヤノン)非正規社員の解雇、雇い止めは地域経済に大打撃を与えた。企業誘致よりも地元企業の雇用をしっかりと確保し、公共事業は地元業者を最優先すべきだ。

答 市内業者のみが参加できる金額を、一億円未満から五億円未満に引き上げた。物品調達も市内業者の受注拡大に努める。

憲法九条を守り、核兵器廃絶を!

問 「平和都市宣言」をし、核兵器廃絶をめざす「平和市長会議」に参

加している市として、「核兵器廃絶」の国際署名に取り組みべきだ。

答 世界に誇る平和憲法の理念を実践していくことが大事であり、「核兵器廃絶」国際署名には積極的に取り組んでいく。

市立湖北病院の充実について

問 湖北病院の麻酔科、小児科、産婦人科の常勤医師の確保について問う。

答 湖北病院を取り巻く医療環境や需要等を勘案し、必要なら診療科を充実させていく。

市民の声

山口 忠義 議員

市長の選挙公約・市政方針について

問 新市長が圧倒的に支持されたのは何故か。その絶大な支持にどう答えるのか問う。

答 合併に対する不安、心配に対して、格差のない風通しの良い政治が望まれたこと。合併後の新しい長浜には、新しいリーダーが望まれたこと、しがらみのない新しい市政をつくって欲しいという声が多かったと思っている。

選挙戦、マニフェストで約束したことを皆様のご理解、ご協力を得て果たしていく。

問 財政健全化をどのように進め、十年後の地方債残高はどれくらいを目標にするのか問う。

答 現在、地方債残高は一人当たり四十九万五千円と県内十三市中五位と高い。今後、財政規模の縮減の中で、プライマリーバランスの黒字化を徹底させ、県内平均の四十万円程度まで縮減したいと考えている。

人事施策・組織計画について

問 今後十年間の退職者数と今後の採用計画について問う。

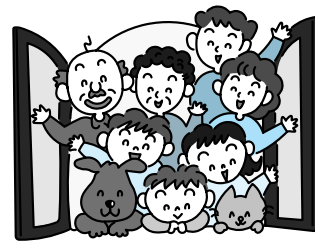
答 退職予定者は約三百二十人。今後の採用計画は、退職者補充を抑制する中で、若年層の減少により組織の活力が低下することが懸念されるため、年齢構成の偏りに留意しながら検討していく。

インフルエンザについて

問 インフルエンザのワクチン接種者数と、これに要した費用の助成金はいくらか問う。また、学級閉鎖の実施状況について問う。

答 本市の医療機関における接種者は二万四千六百六十八人、助成制度利用者は一万一千四百六十二人、その

費用は二千四百万円であった。学級閉鎖は三百二十クラス、学年閉鎖は二十九学年で、六校園で全校（園）閉鎖した。



公明党

福嶋 一夫 議員

市民の声を、新市のまちづくりへ

問 新長浜市をどのようなまちに、またまちづくりをどのように進めていくのかを問う。

答 豊富な自然と脈々と続いてきた伝統や歴史、そして地域の特性を大事にするなかで、本当に誰もが住んでよかった、住んでみたい、行ってみたいと感じる、元気があってふる里感あふれる、心の通った、温もりのある、そんな長浜をつくりあげていきたい。

新庁舎をまちづくりの拠点に

答 行政機能だけでなく、市民の皆様がさまざまな活動に利用できる

スペースや市民の憩いの場として気軽に集えるような機能も備え、まちのにぎわいを創出する場として整備していきたい。

問 介護総点検の結果から見たこと。要介護認定のあり方について、介護予防について問う。

答 必要な介護サービスを必要とときに受けていただくために認定審査の迅速化、主治医意見書の催促、認定審査会では、申請者の状況に応じ、審査判定をおこなっている。ケアプランにより、認定前にサービスを利用されることは、本人の身体的・精神的な不安を解消するためにも必要なことと考えている。

答 高齢者の方へ介護予防を広く啓発するため、出前講座を開催している。介護予防事業の効果は、科学的根拠からも証明されているが、介護予防の効果が高齢者の方全てに浸透しているとはいえない現状であり、今後も介護予防の効果の啓発を積極的に進めていく。



個人質問

個人質問の主な質問と
答弁内容

伊藤 兵一郎 議員

(日本共産党)

民主党農政の影響と対応について

問 米戸別所得補償モデル事業では、一万二千七百三円と標準的な生産費よりかなり低い。長浜市域での生産費について問う。

答 長浜での試算はないが、県の公表値によると、一万五千百三十五円であり、本市も同等と考える。

問 転作、激変緩和措置を問う。

答 麦跡大豆プラス二毛作助成で、従前同程度地となるよう地域水田協議会で検討している。レンジにおける団地転作が激減するため、一定の補填を実施する方向で検討している。

問 新規需要米の取り組みについて問う。

答 JAが飼料米について受入体制を検討しており、西浅井などで環境が整いつつある。

問 土地改良予算大幅減額の影響について問う。

答 現在取り組み中の事業については、継続が可能と思っている。新規分は見込めないが、積極的に要望していく。

浅見 勝也 議員

(新和会)

高月中学校校舎移転改築及び小中一貫教育について

問 小中一貫教育、設計見直し、予算、今後の予定について問う。

答 改築と小中一貫教育研究を切り離し、同規模を参考に建築規模を縮小する。必要な予算計上後に早急に設計見直しに着手する。

子育て支援の充実・強化について

問 今後の体制と利用者等のニーズの把握について問う。

答 子育て支援センター事業の体制は、合計四ヶ所で充実を図っていく。アンケートなど意見徴取する機会を設定し、ニーズ把握する。

消防団活動の取り扱いについて

問 指示、ポンプ操法大会、装備・施設、団員確保について問う。

答 行事等は通知済みで、当大会は従来通りである。年次計画による適正配備を協議、団員確保に努める。

西尾 孝之 議員

(無会派)

公営住宅問題について

問 家賃滞納に対する対応について問う。

答 公営住宅法ならびに市営住宅等家賃滞納整理事務処理マニュアルに基づき、適切な対応に努めている。

公営住宅の払い下げについて

問 平成十四年三月に同和対策事業に係る国の法律等が終了し、現在は

一般施策として管理しており、全ての低所得者に対する重要なセーフティネットの一つと考えていることから、払い下げについては難しいと考える。

びわ農業集落排水について

問 びわ地区の農業集落排水処理施設の公共下水道への接続について問う。

答 東北部流域下水道「木之本西幹線」の整備が前提であり、平成十八年度が供用開始予定である。供用開始後においては、公共下水道への接続について、計画的に進めていきたい。

押谷 友之 議員

(プロジェクト21)

総合評価方式の導入について

問 公共事業の入札をめぐる、価格競争が起こり、品質の低下や下請けへの無理な負担の強要などが懸念される。こうした低価格競争は、地域経済にとっていいことではない。問題を解決できる総合評価方式とすべきと考えるがどうか。

答 総合評価方式は、価格のみならず、技術提案の優劣を総合的に評価することで、より質の高い社会資本を調達することを目的としている。企業モチベーションの向上、談合が行われにくい環境などのメリットが挙げられている。県では、段階的に導入し基本的に全ての工事において適用することを目的としており、公共調達の品質確保のためにも、実施に向けて取り組んでいきたい。

林 多恵子 議員

(公明党)

乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券と子宮がんワクチン補助について

問 乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券の検証と子宮がんワクチンの公費補助について問う。

答 クーポン券の発行により、女性のがん検診受診者数は大幅に増加している。「女性特有のがん検診推進事業」について、二十二年度は国では二分の一補助に変えると聞けが、本市としては今年度の効果を踏まえ、本市負担を加えて実施の方向で予算計上した。ワクチンの接種については、国の動向や費用対効果、先進地事例等、情報の収集に努める。

児童虐待について

問 深刻化する児童虐待に対する取り組みについて問う。

答 養護の相談件数は二百三件で、関係機関、地域住民からの通告や相談等で掌握し、早期発見・早期対応に努めている。

杉本 敏隆 議員

(日本共産党)

スポーツ施設の利用手続き改善と使用料の減免について

問 市政を変えるには、前市長時代の基本的方針の見直しが必要。「受益者負担の原則」などの基本方針を見直すのかどうか。毎月必要な施設の利用手続きの改善及び高齢者のグ

ラウンド使用料の無料化を求めるが、所見を問う。

答 基本方針は見直さない。施設の利用手続きの変更は現時点では考えない。受益者負担の原則でいく。

保健センター・子育て支援センターの存続について

問 議会に諮らず保健センター分室や子育て支援センターを廃止しようとしている。議会制民主主義の形骸化にも係わる由々しき事態だ。市民の福祉に係わる重大な問題は、住民合意を得ながら進めるべきではないか。

答 合併協議の事務調整に基づき細部を決めてきた。

浅見 信夫 議員

(日本共産党)

国民健康保険について

問 国保財政は、国庫負担が千九百八十四年の四十九・八%から二千七年には二十五%まで引き下げられたため、危機的な状況にある。国保料の値上げで滞納世帯も二割を超えている。

①所得二百万円の夫婦と子供二人の四人世帯を例にとると、保険料はいくらか。

②国保料が所得の十七・八%にもなり、高すぎると思わないか。

③国庫負担の増額を求めるなど、市長は国保再生へどのような行動をとるのか。

答 ①年額三十五万六千七百八十円となる。

②市民の負担感が大きいと思う。

③国保財政は危機的状況で、全国市長会をはじめあらゆる機会を通じて、国・県に対し、国保財政の維持改善に向けた要望を行う。

吉田 豊 議員

(プロジェクト21)

新市のまちづくりと中心市街地活性化基本計画の取り組みについて

問 中心市街地活性化計画と新市のまちづくりの整合性を問う。

答 中心市街地は、湖北地域全体の顔として、都市機能を集約し、その地域の有する求心力を遠心力に置き換え、全域全域の魅力を発信することによって、それぞれの個性ある地域が一層輝くと考える。

お互いの良さや特性を引き出し合う様な仕組み、やり方を検討し、整合性を図っていく。

新市の各地域の歴史的財産や伝統芸能のネットワーキングについて

問 後継者、資金不足問題等を抱える中、どの様に支援されるのか問う。

答 郷土の歴史文化、伝統芸能を守り支え発展させていくためにも観光は有効な手段と考える。地域課題を住民の知恵や工夫を活かし、観光的手法を取り入れて解決を図っていく取り組みに対して、今後も支援していく。

北川 薫 議員

(長政会)

第二天井川の取り組みについて

問 第二天井川の取り組みとその進捗状況、今後の取り組みについて問う。

答 第二天井川の長浜新川右支川への接続が認められた平成十九年十一月以後、県営土地改良事業の農地防災事業（ため池等整備事業）として新規採択していただけるよう努めてきた。しかし、滋賀県の財政改革プログラムに合わせ県の財政悪化、国の土地改良事業費削減から早期の新規採択は厳しい状況である。大井川鬼川流域下流への流量負荷軽減のため、開発許可時に雨水流出量が増加する場合は、開発前の雨水流出量まで抑制するための雨水貯留施設等の設置等の義務付けを行っている。

二矢 秀雄 議員

(新和会)

藤井市長の所信について

問 「公平・平等で格差のない」とことと「地域の特性を活かす」とは両立するのか問う。

答 この基本理念の前提として、いわゆる地域の違いが格差なのか多様なのかを明確に判断しなければならぬ。義務教育や福祉サービスなどに格差があってはならないし、住民自らがつくり上げた個々の地域特性を活かす社会づくりも必要であると考ええる。

問 どの様な手法で地域の特性を活かそうとするのか問う。

答 地域のことは地域に住まれている方が最もよく知っておられるので、地域の方々と職員が一緒になって、地域の特性を知り、その活かす方について知恵を出し合ってきたと考えている。

秋野 久子 議員

(日本共産党)

子宮頸がん予防ワクチンに公費助成を

問

子宮頸がんは予防できる唯一のガンで、ワクチンと検診でほぼ百%予防できるといわれ、世界百八カ国で接種、先進三十カ国では公費接種されている。半年に三回の接種が必要で、四、六万円かかるため日本婦人科学会などの専門会議は十一、十四歳での公費接種を推奨され、公費助成を開始する自治体が増えていく。市はガン検診クーポンの充実をいうが、対象年齢が異なる。乳幼児へのヒブワクチン接種補助をいち早く実施した長浜市として、子宮頸がん予防ワクチンに公費助成をする様に求める。

答 ワクチンに関する国の動向や先進地事例等の情報収集に努める。

協阪 宏一 議員

(プロジェクト21)

認定こども園について

問 課題と行政の一元化について問う。

答 健康福祉部としては、保護者に対する保育・教育の内容等説明が十分でなかったこともあり、保護者の方々に不安を与えたと思っている。また、組織として十分な現場指導や支援、保護者対応が行えない環境であったことも原因の一つと考えている。次年度は、教育指導課に認定こども園の教育指導、助言を委ねると

ともに、予算の一本化の調整を進めていく。今後は、幼保一元化も視野に入れ、園の状況、固有の事情に配慮した教育・保育のあり方を研究していく。

教育指導課では、行政の一元化について、国の動向を見極めながら検討していきたいと考えている。次年度以降、園経営の研修及び就学前教育のあり方と教育内容の充実等の研修推進と指導にあたっていく。

金山 正雄 議員

(長政会)

国民読書年について

問 児童生徒に読書習慣を身につける指導をどのようにしておられるかまた、学校図書館の整備はどのように行われているか問う。

答 大半の学校が、朝学習の時間に読書に集中し読書の興味習慣づけの指導を行っている。図書館整備は司書教諭を配置し図書整備、購入、学校の本の入れ替えを行い充実を図っている。

早崎内湖について

問 早崎内湖再生事業の進捗状態はどうか。また今後、国・県にどのように働きかけるのか、混水しているところで二ココ鮒やモロココの稚魚の養殖はできないか問う。

答 地形測量と文化財調査及び基本設計は、概ね本年度で終了し、平成二十二年度は用地測量と地質調査を実施し、実施計画の作成を行う。稚魚の養殖は地元と検討していく。

武田 了久 議員

(長政会)

産業振興施策について

問 合併新市全域を対象に企業誘致のための新しい工業用地計画が必要ではないか問う。

答 適地の検討や企業への働きかけなどの準備を進めながら、投資的機運を見極め、工業用地の整備計画を立案していく。

問 優秀な技術スタッフの確保のため、「国立工業高等専門学校」を湖北へ誘致してはどうか問う。

答 厳しい財政状況を踏まえつつ、高等教育機関の誘致の可能性について検討・研究を行っていく。

問 外資系企業、外国の教育機関の誘致について問う。

答 国内外にこだわらず、市の財政状況を踏まえながら、今後検討・研究していく。

問 新市の森林面積は県内最大となった。森林整備と森林事業再生について問う。

答 県事業の里山リニューアル事業などを活用した森林整備を進めている。民間活力による森林整備の拡大に向けた検討も行っていく。

北田 康隆 議員

(プロジェクト21)

教職員の管理体制について

問 北教組の問題が大きく報道される中、本市においてはこのような問題・事象等はないのか、教職員の管理体制について問う。

答 職員団体の活動を干渉することになるため職員が職員団体に所属しているか否かを公表することはできない。本市においては北教組のような問題はない。

問 旧余呉町において設立された「財団法人湖北水源の郷づくり」について一億円以上の公的資金を有しているが、実態を問う。

答 過疎地域の振興及び地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とし、一億一千四十六万八千円を有している。今後、市として協議・指導をする。

溝口 治夫 議員

(長政会)

災害のなごまちづくりについて

問 「丹生ダムの取り組み」

答 国では、ダム事業見直し議論があるが、丹生ダムは、特に、旧びわ地域の住民の安全で安心できる暮らしのためにかかす事のできない事業であり、市長の考えを問う。

問 いつ大水害や異常湧水が起こるかもわからない中、水面を有するダムと姉川・高時川の河道改修が最も有効と考える。今夏にも出される国の有識者会議の検証結果もふまえた上で、水面ダムを国に強く要望し、河川整備を県に要望していきたいと考えている。

都市計画区域の見直しについて

問 旧びわ町の最大の課題ともいえる都市計画の線引き見直しの進捗度を問う。

答 昨年十一月にびわ生活圏の浅井湖北計画区域への編入を知事に直接要望した。現在、県において、部分的な市街化区域の拡大等区域区分の見直しが行われており、その後、びわ地域の非線引き化等の区域の再編検討に取り組みされると聞いている。

石田 節子 議員

(新和会)

地域の特性を生かす方策について

問 支所機能の充実が地域の持続的で均衡ある発展に繋がるのではないかと。

答 旧六町時代の機能や規模を存続させたり、強化することは考えていない。

問 地域づくり協議会の現状と問題点について問う。

答 設立時期により、進捗に差があり、全ての地域で十分な活動が出来ていない。今後、担当職員の増員や財政支援等を行う。

問 隣市としての原子力防災について

問 もんじゅの運転再開を受けての対策について問う。

答 国県に、万全の予防対策の要請と情報収集に努めたい。

問 四十年超の敦賀原発一号機の運転継続を受けての対策について問う。

答 原子力事業者、老朽化対策や安全性などの適切な報告を求め、市民に「まさか」の事態への対策を早急に取りまとめる。

議案等審議結果

第一回定例会(三月)

議案

第一号	専決処分事項の承認を求めるとして(第二号)	承認(全員)	第三十八号	長浜市営駐車場条例の一部改正について	可決(全員)
第二号	専決処分事項の承認を求めるとして(第九号)	承認(全員)	第三十九号	長浜市営駐輪場条例の一部改正について	可決(全員)
第三号	専決処分事項の承認を求めるとして(第三号)	承認(全員)	第四十号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について	可決(全員)
第四号	平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第十号)	承認(全員)	第四十一号	長浜市福祉医療費助成条例の一部改正について	可決(全員)
第五号	平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第十号)	承認(全員)	第四十二号	長浜市市営住宅条例の一部改正について	可決(全員)
第六号	平成二十一年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計	承認(全員)	第四十三号	長浜市市営住宅条例の一部改正について	可決(全員)
第七号	平成二十一年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計	承認(全員)	第四十四号	長浜市市民健康センターの設置等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
第八号	平成二十一年度長浜市介護保険特別会計予算	承認(全員)	第四十五号	長浜市市民健康センターの設置等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
第九号	平成二十一年度長浜市休日急患診療所特別会計予算	承認(全員)	第四十六号	長浜市市民健康センターの設置等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
第十号	平成二十一年度長浜市公共下水道事業特別会計予算	承認(全員)	第四十七号	長浜市土地開発公社定款の一部変更について	可決(全員)
第十一号	平成二十一年度長浜市農業集落排水事業特別会計予算	承認(全員)	第四十八号	工事請負契約の一部変更について	可決(全員)
第十二号	平成二十一年度長浜市浅井簡易水道事業特別会計予算	承認(全員)	第四十九号	工事請負契約の一部変更について	可決(全員)
第十三号	平成二十一年度長浜市湖北簡易水道事業特別会計予算	承認(全員)	第五十号	和解について	可決(全員)
第十四号	平成二十一年度長浜市木之本簡易水道事業特別会計予算	承認(全員)	第五十一号	平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第二号)	可決(全員)
第十五号	平成二十一年度長浜市余呉簡易水道事業特別会計予算	承認(全員)	第五十二号	長浜市事務分掌条例の一部改正について	可決(全員)
第十六号	平成二十一年度長浜市西浅井簡易水道事業特別会計予算	承認(全員)	第五十三号	教育委員会の委員の任命について	同意(全員)
第十七号	平成二十一年度長浜市木之本・高月水道事業特別会計予算	承認(全員)	第五十四号	教育委員会の委員の任命について	同意(全員)
第十八号	平成二十一年度長浜市病院事業会計予算	承認(全員)	第五十五号	公平委員会の委員の選任について	同意(全員)
第十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計予算	承認(全員)	第五十六号	監査委員の選任について	同意(全員)
第二十号	平成二十一年度長浜市一般会計補正予算(第十一号)	可決(多数)			
第二十一号	平成二十一年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算(第五号)	可決(多数)			
第二十二号	平成二十一年度長浜市診療所特別会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第二十三号	平成二十一年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第四号)	可決(多数)			
第二十四号	平成二十一年度長浜市浅井簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)	可決(多数)			
第二十五号	平成二十一年度長浜市湖北簡易水道事業特別会計補正予算(第五号)	可決(多数)			
第二十六号	平成二十一年度長浜市西浅井簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第二十七号	平成二十一年度長浜市木之本・高月水道事業特別会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第二十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第二十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第三十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第四十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第五十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第六十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第七十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第八十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十一号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十二号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十三号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十四号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十五号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十六号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十七号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十八号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第九十九号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			
第一百号	平成二十一年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算(第一号)	可決(多数)			

編集後記

三月定例会は、新市長の就任と六名の議員が加わったの議会となりました。合併後の新市のまちづくりの第一歩として二十二年度の骨格予算をはじめ、多くの議案を審議し、採決しました。

言うまでもなく合併は将来を見据えたまちづくりの手段であり、正直その効果には時間を要するものもあります。種々の課題に対して常に時代の歯車を前向きに回しつつ、議員それぞれが市民の負託を受けた公選人としてこれからも切磋琢磨して活動していきます。

限られた紙面での発行ゆえに、満足なご報告ができませんが、インターネットを通じても視聴いただけますので、今後とも市民の皆さまのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

ながはま市議会だより
編集委員会

一般質問の録画映像についてはインターネットで見ることができます。
http://www.discussvision.net/nagahamas/index.html